

## 【第 2 号議案】

## 大会テーマ（案）について

有識者による「大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会」を設置の上、全国公募により作品を募集し、審査会により大会テーマ（案）を選定した。

## 1 公募概要

- (1) 募集期間 令和 5 年 11 月 8 日（水）～令和 6 年 1 月 17 日（水）  
 (2) 応募資格 県内外、国籍年齢を問わず応募可能  
 (3) 募集内容 全国植樹祭基本構想の開催理念・大会の基本方針を踏まえ、愛媛県らしさを全国に発信する大会テーマ  
 (4) 応募総数 2,072 点（県内在住：611 点、県外在住：1,461 点）



(募集チラシ)

## 2 審査について

## (1) 大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会 委員（7名）

職名	所属機関・団体	役職	氏名
委員長	国立大学法人愛媛大学	名誉教授	千代田 憲子
委員	株式会社 E R I M A K I	代表取締役	井上 真季
	愛媛県美術館	主任学芸員	喜安 嶺
	愛媛県教育委員会事務局義務教育課	指導主事	福垣内 あゆみ
	愛媛県教育委員会事務局高校教育課	担当係長	徳森 久子
	公益財団法人愛媛の森林基金	事務局長	俊成 秀樹
	愛媛県農林水産部森林局	局長	西田 伸生

## (2) 審査基準

- ① 開催理念をわかりやすく表現した作品となっていること。
- ② 言葉の響き、リズムがよく、印象に残る作品になっていること。
- ③ 愛媛県らしさを全国に発信する作品となっていること。
- ④ 自作かつ未発表（過去のコンクール等で入賞していない）ものであること。
- ⑤ 過去の大会のテーマや、その他既存の作品に類似していないこと。

## (3) 審査経緯

## ① 一次審査

応募総数 2,072 点から 32 点を選定

## ② 最終審査（第 2 回専門委員会内開催）

一次審査で選定された 32 点について、協議により、入賞候補 6 作品を順位付けの上、最優秀作品（1 点）、優秀作品（3 点）、次点作品（2 点）を選定

### 3 審査結果

最優秀賞の作品を大会テーマとして選定

賞	作品・応募者・選定理由
最優秀賞 (大会テーマ)	<p>[作 品] 育てるけん 伊予の国から 緑の宝</p> <p>[応募者] <sup>かい</sup> 甲斐 <sup>べには</sup> 紅莓さん (愛媛県立伊予農業高等学校3年)</p> <p>[選定理由] 「育てるけん」という愛媛の優しい方言の中に「豊かな森を未来へ引き継いでいこう」という強い意志が感じられる。</p> <p>また、「緑の宝」は、「森林が育む多様な恩恵」を上手く表現しており、持続可能な社会の実現や県民参加による森づくりを全国に向けて発信することとしている第76回全国植樹祭の大会テーマにふさわしい作品である。</p>
優秀賞	<p>[作 品] 伊予の国 緑がつなぐ 夢・未来</p> <p>[応募者] <sup>はやかわ</sup> 早川 <sup>としあき</sup> 俊章さん (東京都在住)</p> <p><sup>てらにし</sup> 寺西 <sup>あきら</sup> 章さん (富山県在住)</p> <p><sup>にしむら</sup> 西村 <sup>よしかず</sup> 芳和さん (滋賀県在住)</p> <p>※各個人による単独作品</p>
	<p>[作 品] 見てみんけん 愛顔で作る 緑の未来</p> <p>[応募者] <sup>にしおか</sup> 西岡 <sup>なおひろ</sup> 直優さん (愛媛県立伊予農業高等学校3年)</p>
	<p>[作 品] こだまして 愛媛の樹々が 愛顔呼ぶ</p> <p>[応募者] <sup>ふるかわ</sup> 古川 <sup>あきお</sup> 明夫さん (愛知県在住)</p>